

# 6年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字の学習に意欲的に取り組み、定着率が上がった。</li> <li>・物語文の学習で、中心人物の心情の変化から物語の主題をつかむことができるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎話の要点を聞き取ること。</li> <li>・語彙が乏しい。知らない言葉について調べようとする意欲が乏しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張や理由など、聞き取る観点を明確にして聞き取ることができるよう指導する。</li> <li>・意味を調べたり、使い方を練習したりする時間を確保する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数的活動をすすんで取り組む児童が多い。</li> <li>・課題に対する解決法を複数考えたり、友達の考え方を使って課題を解決しようとしたりする児童が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎四則計算（特に小数と分数）に課題がある。</li> <li>・学習の定着度合いの個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四則計算を繰り返し練習する時間を確保する。</li> <li>・補習を活用し、既習事項の定着を図る。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心が強く、意欲的な取り組みが見られる。</li> <li>・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歴史上の人物と業績の一致ができていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の暗記ではなく、歴史的事象の理由を明らかにして時代背景をふまえた学習を行う。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科への興味・関心が強く、特に、実験・観察に対して意欲的な取り組みが見られる。</li> <li>・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎実験をグループで行うとできるが、個人で行うと手順等で戸惑うなど、技能の定着が曖昧な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験する際、一人の児童が進めるのではなく、役割分担をすることで個々の技能の定着を図る。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏することができる。</li> <li>・曲想や旋律の特徴から、表現したい思いや意図を言葉や音楽で表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎表現することに、恥ずかしさや抵抗を感じている児童もいる。</li> <li>・音楽を形づくっている要素及びそれらにかかわる音符、休符、記号について、その意味や効果を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に変声期の児童に配慮しながら、児童一人一人のよさを見付けて伝えたり、積極的に声掛けをしたりして、自信をもてるようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて話を聞いて集中して授業に取り組むことができる児童が多い。</li> <li>・自分の表したいものに合わせて、主体的に材料を用意したり表現方法を考えたりできる児童が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎さらに主体的に作品制作に取り組める力を付けること。</li> <li>・不器用さ故に絵の具やはさみの使い方が思うようにいかない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童それぞれの思いや考えを発表させたり資料を多数用意したりすることで意欲を高め、様々な表現方法があることに気付かせて作品制作に取り組むようにする。</li> <li>・絵の具やはさみの基本的な使い方を確認す</li> </ul>

			る機会を設ける。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に積極的に取り組むことができ、作品作りには、特に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・学習したことを家庭での実践につなげる指導ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ミシンの使い方や、裁縫の手順など基礎的な知識・技能が身に付いていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンの使い方を練習する時間を設ける。</li> <li>・友達に任せるのではなく、教えてもらって自分で作成するよう指導する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に対する意欲が高く、友達と協力しながら取り組むことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、できる運動が限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の運動能力の伸びが実感できるような学習活動を行う。</li> </ul>